

貸出照会

処理概要

- 貸出予定または貸出実績を商品別か得意先別で参照できる画面です。
- 過去、未来関係なく指定した日付範囲に含まれるデータを集計します。
- ◇取得データ内容
状況ごとに以下の条件で取得します。ただし、状況＝返済 の場合は返却日は全数返却日と読み替えて取得します。

【状況の種類】

- 貸出予定データ ⇒ 受注データより、受注で受注残数>0の場合は「受残」。
- 貸出実績データ ⇒ 受注出荷データより、返却残数>0 は「貸中」、返却残数≤0は「返済」。

【取得条件】

各状況ごとに「○」の範囲を取得します。

照会内容	状況	取得		取得範囲
		貸出予定 受残	貸出実績 貸中 返済	
期間From	期間To	○	○ ×	返却日≠ AND 納品日<期間From AND 返却日<期間From
←	←	○	○ ○	返却日≠ AND 納品日≤期間From AND 期間From≤返却日 AND 返却日≤期間To
←	←	○	○ ○	返却日≠ AND 納品日≤期間From AND 期間To<返却日
←	←	○	○ ○	返却日≠ AND 期間From≤納品日 AND 納品日≤期間To AND 期間From≤返却日 AND 返却日≤期間To
←	←	○	○ ○	返却日≠ AND 期間From≤納品日 AND 納品日≤期間To AND 期間To≤返却日
←	←	○	○ ×	返却日= AND 納品日≤期間To
←	←	×	×	返却日≠ AND 期間To<納品日 AND 期間To<返却日
←	←	×	×	返却日= AND 期間To<納品日

◇出力順

- XX別の出力順は、商品別(単品なし)の場合は、商品コード昇順、商品別(単品あり)の場合は、商品コード昇順+単品番号昇順、得意先別の得意先コード昇順単位で、続けて明細各明細は以下の出力順
- ・レンタル期間の開始日(納品日)昇順+レンタル期間の終了日(返却予定日または全数返却日)+受注No昇順+受注行No昇順+状況順(受残⇒貸中⇒返済)

画面項目説明

◆出力条件

【期間From】

初期値： 本日。前回値記憶しない。

指定必須

【期間To】

選択項目： 1週間／1ヶ月／3ヶ月末／半年／1年／指定

初期値： 「1ヶ月」。前回値記憶しない。

「指定」選択の場合は、年月日指定必須とする

【集約】

選択項目： 商品別／得意先別

初期値： 商品別。実行端末ごとに前回値記憶する

【照会内容】

選択項目： 全て／貸出予定／貸出実績

初期値： 全て。実行端末ごとに前回値記憶する

【状況】

選択項目： 受注残・貸出中・返却済

初期値： 全てチェックOn。実行端末ごとに前回値記憶する

照会内容が「貸出予定」の場合は、受注残のみチェック可。「貸出実績」の場合は、貸出中・返却済のみチェック可

【単品/現場別】

選択項目： あり／なし ※集約の選択が商品別の場合「単品別」、得意先別の場合は「現場別」と表示され選択可

初期値： あり。実行端末ごとに前回値記憶する

「あり」の場合は、集約の選択が商品別の場合は商品単品別、得意先別の場合は得意先別現場別に出力する。

「なし」の場合は、集約の選択が商品別の場合は商品別、得意先別の場合は得意先別に出力する。

あり、なし関係なく、集約の選択が商品別の場合は、管理番号現場列タイトルを「現場名1+2」、に得意先別の場合は、タイトルを「管理番号」と表示し、出力する。

【明細】

選択項目： あり／なし

初期値： あり。実行端末ごとに前回値記憶する

「明細」が「なし」の場合は、商品別の場合は商品行のみ、得意先別の場合は得意先行のみを出力する。（コードと名称1+2と各日付の「■」のみ）

「明細」が「あり」の場合は、上記に加えて明細行も出力する。

【他、マスタ抜粋条件】

- ・商品コード、管理番号、商品分類1コード、得意先コード、倉庫コード、納品日、返却予定日より抜粋したい条件を指定する。指定していない項目は全データ対象とする。
- 商品分類1の表示ラベル名は運用設定の商品分類1タイトル名を表示する。

【状況別の色設定】

- ・各状況別のラベルをクリックすると色設定画面が開き、各状況ごとの文字色を設定できます。

◆検索ボタン

指定して出力条件、検索条件に一致する以下のデータを抽出します。

◆明細情報

◇商品別または得意先別1行目の明細・・・

集約項目が「商品別」で、単品別が「なし」選択の場合は 明細の商品コード+商品マスタの商品名1を出力します。

集約項目が「商品別」で、単品別が「あり」選択の場合は 明細の商品コード+[明細の管理番号]+商品マスタの商品名1を出力します。

集約項目が「得意先別」で、現場別が「なし」の場合は ヘッダの得意先コード+得意先マスタの得意先名1+2を出力します。

集約項目が「得意先別」で、現場別が「あり」の場合は ヘッダの得意先コード+[ヘッダの現場コード]+得意先マスタの得意先名1+2+[現場マスタの現場名1+2]を出力します。

どちらの場合も背景色は深緑色とします。

各日付には、明細行で1つ以上「■」マークが出力される場合に「■」マークを出力します。

「明細」が「なし」の場合は、当行のみを出力する。背景色は白となります。

「明細」が「あり」の場合は、当行と以下の明細を出力する。

◇予定または実績の明細

以下の項目を出力します。 明細をダブルクリックすると、貸出予定の場合は受注入力、貸出実績の場合は売上入力画面を修正モードで開きます。

【状況】

(貸出予定)受注データより、受注で受注残数>0の場合は「受残」と表示します。

(貸出実績)出荷データより、返却残数>0は「貸中」と表示し、全項目、青字で出力します。返却残数≤0は「返済」と表示します。

【受注No】

受注ヘッダの受注Noを表示します。

【得意先/商品】

「集約」項目が「商品別」の場合は、タイトルを「商品/得意先」とし、伝票ヘッダの得意先コードと明細の得意先名1+2表示。

「集約」項目が「得意先別」の場合は、タイトルを「得意先/商品」とし、伝票明細の商品コードと明細の商品名1表示。

名称の列は、先頭全角20文字程度を見せる列幅で初期表示し、列幅はユーザが変更して後続文字を確認できるようにする。

【管理番号/現場】

集約が得意先別の場合はタイトルを「管理番号」(運用設定の管理番号タイトル)と表示し、受注明細の管理番号を出力する。

集約が商品別の場合はタイトルを「現場名1+2」と表示し、受注伝票の現場名1+2を出力する。

【納品日～倉庫まで】

各データの各値を出力します。

倉庫は倉庫略名を出力します。

全数返却日は、貸出実績で全数返却済の明細のみ出力します。

【貸出数】

貸出予定の場合は受注数量、貸出実績の場合は売上数量を出力します。

【受注残、返却残】

貸出予定の場合は受注残数、貸出実績の場合は返却残数を出力します。(出力時点での残数)

【各日付】

貸出予定の場合は受注ヘッダの納品日から返却日までを「■」マークで出力します。

貸出実績の場合は返却残ありの明細は、受注ヘッダの納品日から返却日までを「■」マークで出力します。

貸出実績の場合は全数返却済の明細は、受注ヘッダの納品日から返却データの全数返却日までを「■」マークで出力します。

指定範囲From<終了日のデータはどの日付もマークなしとなります。

曜日は土曜が青、日曜が赤で出力します。

本日は日付と曜日の背景を柿色で表示します。

◆エクセルボタン

画面表示している一覧をエクセルで出力します。

ボタン押下すると保存先とファイル名指定された出力先指定画面がひらきます。

出力先とファイル名は実行端末ごとに前回値を記憶します。

貸出照会

**期間
**集約
**条件

状況	受注No	**得意先商品タイトル		**管理番号	納品日	返却予定日	全数返却日	倉庫略名	種別	貸出数	出荷済返却済	受注残返却残	2016年5月									
													**期間月	01	02	03	04	05	06	07	08	
													**期間日	日	月	火	水	木	金	土	日	
**状況	**受注No	**コード	**名称1+2	**管理番号	**納品日	**返却予定日	**全数返却日	**倉庫略名	**種別	**貸出数	**済数	**残数	**印									
受残	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29		KKKKK	月極日割	5	2	3	■									
受残	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24		KKKKK	KKKK	5	2	3										
貸中	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29		KKKKK	KKKK	5	2	3	■									
貸中	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24		KKKKK	KKKK	5	2	3										
返済	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29	2016/04/29	KKKKK	KKKK	5	0	0	■									
返済	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24	2016/04/24	KKKKK	KKKK	5	0	0										
XXXXXXXXXXQXXX KKKKK													■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
受残	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29		KKKKK	KKKK	5	2	3	■									
受残	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24		KKKKK	KKKK	5	2	3										
貸中	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29		KKKKK	KKKK	5	2	3	■									
貸中	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24		KKKKK	KKKK	5	2	3										
返済	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/29	2016/04/29	KKKKK	KKKK	5	0	0	■									
返済	99999999	XXXXXXXXXXQXXX	KKKKKKKKKKQK	XXXXXXXX...	2016/04/20	2016/04/24	2016/04/24	KKKKK	KKKK	5	0	0										

明細なしで出力の場合は、背景黄色の行(XX別の行)のみが出力
商品別の場合は管理番号列は非表示

レイアウトに印字できる項目の説明です。
 「**」で始まる箇所に、以下の内容が出力されます。

出力目印	出力内容
出力共通情報	
**期間	画面で指定した期間を出力
**選択	画面で指定した集約、明細、照会内容、状況の選択情報を出力
**条件	画面で指定した商品、管理番号、商品分類1、倉庫、得意先条件を出力
一覧データ情報	
**状況	貸出予定で「受残」と表示。 貸出実績の場合は返却残ありは「貸中」、全数返却済は「返済」と表示。
**受注No	受注Noを出力
**コード	集約条件が商品別の場合は得意先コード出力。得意先別の場合は商品コード出力
**名称	集約条件が商品別の場合は得意先名1+2をスペース区切りで出力。得意先別の場合は商品名1を出力
**管理番号現場	集約条件が商品別の場合は現場名1+2、得意先別の場合は管理番号出力
**納品日	伝票で指定した納品日をyyyy年mm月dd日で出力
**返却予定日	伝票で指定した返却日をyyyy年mm月dd日で出力
**全数返却日	伝票で返却された日をyyyy年mm月dd日で出力。全数返却でない場合は空白
**倉庫略名	伝票で指定した倉庫の略名を出力
**種別	伝票で指定したレンタル種別を出力
**貸出数	貸出予定の場合は受注数量、貸出実績の場合は売上数量を出力します。
**残数	貸出予定の場合は受注残数、貸出実績の場合は返却残数を出力
**印	貸出予定の場合は受注ヘッダの納品日から返却日までを「■」マークで出力。 貸出実績の場合は返却残ありの明細は、受注ヘッダの納品日から返却日までを「■」マークで出力。 貸出実績の場合は全数返却済の明細は、受注ヘッダの納品日から返却データの全数返却日までを「■」マークで出力。
一覧タイトル情報	
**得意先商品タイトル	集約条件が商品別で単品ありの場合は「商品[管理番号]/得意先」、単品なしの場合は「商品/得意先」、得意先別で現場別ありの場合は「得意先[現場]/商品」、現場別なしの場合は「得意先/商品」と表示
**管理番号現場タイトル	集約条件が商品別の場合は「現場名1+2」、得意先別の場合は運用設定の管理番号タイトル（初期値は「管理番号」）を出力